

大型ごみ・死獣収集申込みに関する仕様書補記

1 受付機能

- (1) 氏名を漢字入力した際に、フリガナも自動で入力されること。
- (2) 申込みがあった際、受付画面にて、自宅住所・電話番号・FAX番号等の情報を使って検索することで、自動的に基本電話番号（固定電話等の世帯代表番号）を表示するとともに、受付の履歴が存在する場合、自動的に前回の情報を表示できること。
- (3) 受付画面において、直前に受け付けた申込みの受付番号をボタン一つで呼び出しすることができること。
- (4) 受付画面において、受付の履歴を一覧表示し、受付中、取消済み、収集済等の状況が色分けされ、視覚的に区別できること。
- (5) 地図上のマンション名等の文字情報をクリップボードへコピーし、貼付けできること。
- (6) 申込みの住所や排出場所を特定する際の地図操作で、マウスの右クリックメニューで地図のドラッグスクロールやポイント指定を指定して場所の登録ができること。
- (7) 町名を選択する際、郵便番号・キーワード等での検索ができること。
- (8) 申込品目は、種別ごとでの表示、読み仮名順での表示、使用頻度順での表示ができること。
- (9) 最寄りの粗大ごみ処理手数料券販売店を検索し、距離の近い順にリスト表示（店名、電話番号、住所）し、各店舗をクリックすると地図と連動し、申込場所と該当店舗を線で結んで表示できること。
- (10) 伝達事項は、収集担当者向けと受付担当者向けに分けて入力することができること。収集担当者向けの伝達事項は、収集伝票に印刷されること。
- (11) 受付内容を確認票として、ボタン一つで印刷できること。
- (12) 端末ごとに直近で受付を行った電話番号の履歴が一覧表示できること（最低5件）
- (13) 苦情・問合せの内容を入力できること。受付画面からボタン一つで呼び出し、よく使われる内容のものはマスターから選択することができ、詳細内容についても入力できること。
- (14) 祭りの期間中など臨時で収集エリアの制限を行う場合、受付画面の地図上で該当地域が判断できるようにすること。また、コールセンター職員により、自由にメンテナンスできること。
- (15) 死獣（ノラ）受付時に申込みが重複しないように、受付完了後に、地図上に死獣マークが登録される仕組みを導入し、オペレーター間で情報共有できること。
- (16) オペレーターが収集日ではない日を指定した際に、警告メッセージを発するなど、受付中でも容易に誤りに気付けるシステムにすること。
- (17) 申込後に電話番号の変更があっても、申込みをキャンセル対応することなく受付情報を変更出来ること。
- (18) 受付番号検索において連番の5桁を入力した場合に、西暦・月の数字を検索対象から除外し、連番部分のみを検索対象として検索すること。

2 収集機能

- (1) 配車計画は、市全域を対象とする他に、行政区単位で並行して処理することもできること。
- (2) 地図画面を矩形選択または一覧表からの選択をすることにより、一括配車処理ができること。

- (3) エクセルでの配車計画表の作成、及びメンテナンスをすること。
- (4) 収集対象の場所、配車済みの場所、選択中の担当車両で配車済み箇所を、地図画面上にアイコンを変えて、一目でわかるように表示できること。
- (5) 配車されていない申込みを絞り込み、情報が確認できること。
- (6) 配車後に該当車両から別の車両への受渡しができること。
- (7) 収集順の並替えが条件によって自動及び手動でできること。
- (8) 収集伝票とは別に、広域での地図出力ができること。
- (9) 地図の印刷機能として、出力する用紙サイズ、分割枚数、縮尺・角度を指定して印刷できること。
また、印刷枠を地図上に表示させ、マウスでの移動ができること。
- (10) 収集伝票にメモ書き欄を設けること。
- (11) 収集伝票には、通し連番を表示すること。
- (12) ごみ種別、狭あい区分によって車両を分けて自動配車及び手動配車することができ、またその内容を収集リストに印刷できること。
- (13) 印刷処理の関係で締切り前に印刷したものについて、変更・キャンセルがあった場合は、変更分として確認及び収集伝票が印刷できること。
- (14) 収集する品目に応じて担当する車両を割り当て、同じ収集の申込みについて、複数の車両が収集する場合は、それぞれの担当車両ごとに収集伝票を印刷でき、担当品目と担当外の品目を区別するマークを表示できること。
- (15) 収集日の前日（締切り後）に収集場所の変更があり、狭あい区分が変更になった場合は、変更伝票は、変更後の狭あい区分で印刷されるとともに、変更前の狭あい区分については、取消し伝票が印刷されること。
- (16) 各区表紙に粗大ごみ処理手数料券（以下、「シール」という。）の枚数を、申込者ごとに表示するとともに、粗大、分別、狭路の区分ごとの合計を表示すること。
- (17) 行政区ごとに合計の収集件数、シール枚数が1枚で印刷出来ること。
合計の粗大件数及びシール枚数、分別件数及びシール枚数、狭路件数及びシール枚数、辺地件数及びシール枚数を一つの枠に、各行政区の粗大件数及びシール枚数、分別件数及びシール枚数、狭路件数及びシール枚数、辺地件数及びシール枚数を一つの枠で1枚の用紙に印刷出来るようにすること。また、シール枚数のみを印字した印刷も出来ること。
- (18) 死獣受付時の納付書送付先データは、CSV形式で出力するとともに、申込者の住所の周辺地図も出力できること。
- (19) 印刷物に文字化けを出力させないこと（環境依存文字など）。
- (20) 収集伝票の、品目欄及び品目備考欄の文字数は25文字程度表示可能な設定とすること。
- (21) 伝票地図印刷向きはA4用紙縦向きとし、備考欄の文字数100文字程度表示できること。
- (22) 収集伝票に出力された伝達事項は、変更伝票においても出力されること。
- (23) 検索、差分検索後の印刷がスムーズに行えるよう工夫を施すこと。
- (24) 排出場所ではなく、申込者の住所がある行政区で、伝票印刷処理が出来るようにすること。
- (25) 狭路における家電4品目の収集の場合は、狭路、家電それぞれの区分で伝票が印刷されること。
- (26) 変更伝票の印刷時、任意の行政区ごとにまとめて印刷できること。
- (27) 月1回の辺地収集（第1水曜日～第4水曜日）については、検索時に、11行政区と別に遠場の枠

を設けることとし、印刷時に行政区ごとの印刷とは別に伝票印刷が出来るようにすること。また、印刷対象の行政区及び遠場を選択するためのチェックボックスを用意すること。

(28) 伝票印刷を中止できる仕組みを設けること。

(29) 変更伝票は、受付番号で検索及び個別の印刷が出来ること。

3 管理機能

(1) 地区割りの設定は、町名・番地での設定以外に、地図上で該当区画を囲んでポリゴン指定ができること。

(2) 狭あい道路の入力は、ラインとポリゴンで入力できること。

(3) 受付画面上、集計結果のそれぞれの詳細情報をマウスのダブルクリックで表示させたり、地図と連動して申込場所等を表示できること。また、集計結果はグラフ表示や、CSV形式でのデータ出力ができること。

(4) 高頻度利用者（閾値を設けて一定期間での申込みが多い者）の検索ができること。

(5) 苦情・問合せについて集計できること。

(6) 排出場所の管理が行えること。排出場所管理機能は、本システムと一体管理され、背景地図を共用し、地図上にシンボルを登録することができること。また、登録したシンボルには、排出場所番号の他に収集曜日等の情報を登録することができること。シンボルについては、受付業務システム及び収集業務システムの画面にも表示できること。

(7) マスターデータの設定及びメンテナンスを実施すること。また、生活環境美化センターからの指示があれば、マスターデータの設定変更を実施すること（年末年始、祇園祭、メーデー、供物収集等の特別収集に伴う変更）。

(8) 地図上への文字挿入に当たっては、横書き及び縦書きのいずれにも対応可能であること。（5行程度）

(9) 1日ごとの粗大、分別の件数制限を設定出来るようにすること。

(10) 祭りの期間中などの交通規制情報を、地図に網掛けで反映すること。

(11) 受付情報の検索時に、伝票、差分画面の受付番号に併せ、使用している地図データの紙版の該当ページを表示出来るようにすること。

(12) 建築物の新築や形状変更及び新道路等を確知したときに地図への作図及び削除をすること。

(13) 以下のとおり、月別件数を一括して検索、CSV出力ができること。

死獣 ペットとノラの区分別

大型ごみ 粗大と分別の区分別

(14) 各行政区で件数検索した時に、各受付情報と併せて、シール枚数を表示すること。

(15) 検索欄は25文字程度が収まるように設定すること。

(16) 品目設定時の文字数は25文字程度とすること。